

## 歯並びへのまなざし

### —歯列矯正をめぐる言説と人々の意識・行動—

藤本 直

#### 1 はじめに

きれいな歯並びを手に入れるため、歯列矯正を決意する人がいる。近年、健康面や社会関係への影響などが鑑みられるようになり、ますます歯列矯正に注目が集まっている。完了までに 100 万円程度かかることもざらで、気軽に始められるものではない歯列矯正であるが、人々はなぜ治療を決意するに至るのか。人々が歯並びをどのようにまなざし、また、まなざされ、その結果どのような悩みを抱え、歯列矯正に至るのかを、人々の言説を元に検討を行い、歯列矯正を選択することが個人にとってどんな意味を持つのか知りたい。

#### 2 歯列矯正の概要

まずは歯列矯正について概要をまとめた。なおその変遷については、後掲の資料 1 を参照されたい。

##### 2.1 歯列矯正と保険適用

費用面を考えると気軽には始められない歯列矯正であるが、そもそも治療費が高額になるのはそれが自由診療扱いとなるからである。矯正歯科院長である田中憲夫は、著書『人生を変える！本当の矯正治療』で、「一般的な矯正治療が自由診療であるのも、歯並びの悪さは病気ではなく、見た目の問題であるという捉え方によるものといえます。実際には矯正治療は見た目だけでなく、噛み合わせの治療でもあり、健康にも深く関わりがあるものですが、残念ながらそれを国の制度では病気であるとは捉えられていないことが、保険適用されていない理由の一つになっています」（田中 2021：61-62）と述べている<sup>1</sup>。

##### 2.2 歯列矯正にかかる費用と期間

歯列矯正の費用についても、簡単にまとめておこう。公益社団法人日本矯正歯科学会 HP「矯正歯科治療について」には、「通常、歯の表側からつける複雑なマルチブラケット装置などの精密な装置を使用する場合、初診から矯正歯科治療後の保定期間の通院までも含め

---

<sup>1</sup> 保険診療の対象となる矯正治療については資料 2 参照。

た一般的な総額で 80～120 万円程度かかるようです」,「治療期間ですが、通常の不正咬合の場合は装置を入れておく期間が 2～3 年程度かかり、簡単な治療で改善する場合には半年程度で済むこともあります。受け口など顎に問題がある場合などは、はるかに長い期間に及ぶ場合もあります」との記載がある(図表 1 も参照のこと)。

#### ●ワイヤー矯正治療 30 回、保定治療 5 回で治療終了の総額を比較

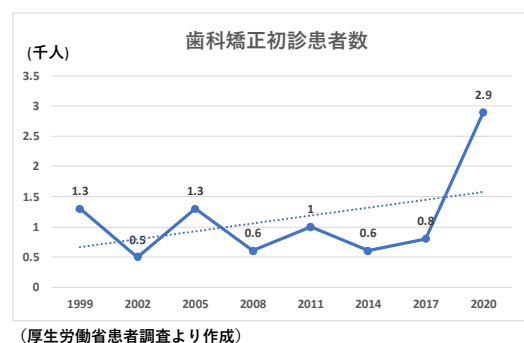
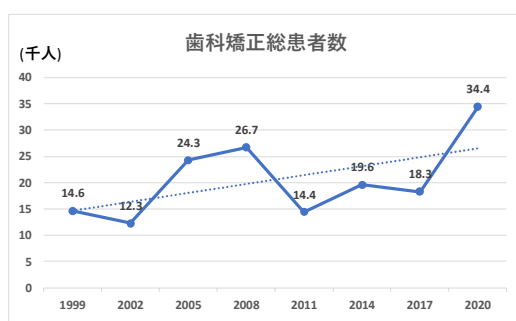
	S大学歯科病院	某都内矯正歯科医院
初診料	3,000 円	0 円
検査料	33,000 円	30,000 円
診断料	25,000 円	0 円
装置費用	750,000 円	850,000 円
処置費用	122,500 円(3,500 円×35 回)	0 円
合計	933,500 円(税別)	880,000 円(税別)

出典:人生を変える! 本当の矯正治療(田中、2021:103)

【図表 1】歯列矯正治療費:内訳と総額の例

### 2.3 患者数の増加

過去 20 年間における歯科矯正の患者数の推移を見ておこう。図表 2 は、厚生労働省患者調査の結果から作成したものである。2017 年から 2020 年にかけての伸びは、総患者数で約 1.9 倍、初診患者数で約 3.6 倍と顕著であり、人々の歯列矯正への関心は一気に高まっていることがわかりいただけるだろう。しかしそのメリットを語るに留まらず、歯列矯正が個人にとってどのような意味を持つのか、社会でどのような意味を持つのか批判的に検討することが必要であると考ええる。



【図表 2】歯列矯正患者数の推移

### 3. 先行研究の検討

口と歯に関する社会学的な研究は多くはない。そのなかでここでは、"Bridging a gap: the (lack of a) sociology of oral health and healthcare"という論文(Exley 2009)を紹介したい。

この論文がまず指摘しているのは、個人は歯の外見から判断される可能性があり、よって口腔の健康は身体的および社会的機能に不可欠であるが、そこには経済格差、地域格差、世代間格差など、かなりの不平等が存在する、という点である。そしてその不平等を認識することの重要性を説いた上で、この分野の研究が非常に乏しい事を指摘し、今後の可能性を検討している。具体的には、それぞれの異なる集団ごとに、人々が口腔の健康とヘルスケアをどのように認識し、その見解がどのように変化していくかを理解することや、審美歯科の出現と「身体プロジェクト」、特に外見とその自己同一性への影響を検討すること、社会学が貢献できると述べられている。

これを受けて本稿の意義として挙げられるのは、そもそも歯列矯正について検討を行うという先行研究の少ないテーマであること、加えて上記の先行研究で今後の可能性として示されたことも踏まえ、個人レベルのミクロな視点とそれを取りまく諸言説を関連づけて歯列矯正を捉え直すこと、の2点であるといえよう。

#### 4 歯列矯正への社会圧力

まずは、社会圧力から生まれる歯列矯正へのモチベーションについて検討を行う。4.1 では、社会的に信頼され、専門家として強い発言力を持つ歯科矯正医が、歯列矯正についてどのように発言しているのか、4.2 では歯並びが悪いことによって他人からどのように見られるのかをみていきたい。

##### 4.1 歯科矯正医の言説

書籍を読み進める中で、歯科矯正医らの語りにおいて「機能美」がキーワードであることがわかった。そもそもこの「機能美」とはなにか。辞書的な語義は下記のとおりである。

##### きのう-び【機能美】

建築・工業製品などで、余分な装飾を排してむだのない形態・構造を追求した結果、自然にあらわれる美しさ。(デジタル大辞泉より)

歯列は「建築・工業製品」ではないが、歯科矯正医の語りに特徴的なのは、歯列矯正の「機能美」を説き、その正当性を強調していることである。中でも注目したいのは、他の「おしゃれ」<sup>2</sup>、例えば美容整形やエステ、洋服の購入などと比較して、優位性が語られることである。「機能美」という概念は美容と医療のはざまに位置する施術に特徴的な言説であると思われる。歯列矯正は外見の改善を期待する人が多い治療でありながら、他の「おしゃれ」とはちがって、歯並び、かみ合わせの改善が重要な目的となる。一方、美容整形はあ

---

<sup>2</sup> 本論文において「おしゃれ」は、見た目を美しくすることを目的とした行為全般を指すことにする

る種の「病理」であると捉えられがちであり<sup>3</sup>、ダイエットも同様である。しかし歯列矯正は審美目的に加えて、医療目的をも達成する治療であるため、外見の改善を期待する人が多いにも関わらず、病理的な印象が打ち消されている。歯列矯正によって得られるきれいな歯は、どこまでも正しく美しいのである。そんなふうに、見た目も美しくなって健康にもなれるとされる歯列矯正の利点を端的に表したのが「機能美」という言葉である。

美容と医療が結びつくことで、歯列矯正を希望する患者にたいいていの場合存在する「美しくなりたい」という感情の病理性が打ち消され、さらには治療の正当性までもが付与されている。また歯列矯正の正当性は、専門家として社会的地位の高い、歯科矯正医の言説によって強化されている可能性も指摘しておきたい。

以下、機能美に関する歯科矯正医の言説を、数冊の書籍から具体的に紹介しておきたい(資料3も参照のこと)。

- ・「きちんとした歯並びにすることで歯の機能を回復し、それによって美しさも得られる、つまり機能美ということが歯の場合、大前提です。」(橋場、1997:110)
- ・「噛むという機能を十分発揮する歯は、予想以上に人の輝きを引き出す……矯正歯科をやっているわたしが実感する『美しさ』の姿です。」(橋場、1997:145)
- ・「前歯がきれいな人は、奥歯の柱がしっかりしていることを証明しているわけである。(中略) 美しい歯を持った人は口の機能が優れているのである。」(伊藤、2007:25)
- ・「機能と美容は表裏一体です。機能として優れている歯並びは形態としても美しいですし、美しい歯並び・口元は、機能としても優れているのです。」(浅野、2012:57)
- ・「歯科矯正で行う歯列矯正は、美しくなることが目的であったとしても美容整形とは根本的に違います。例えば目や鼻を整形しても、目がよく見えるようになったり、呼吸が楽になるなど機能がよくなったりすることはありません。これに対して歯列矯正は、歯並びをよくすることで噛む機能を高め、全身状態を向上させる目的を併せ持っています。」(古田、2021:39)

次節からは、「機能美」に関する歯科矯正医の言説を、さらに健康/見た目の2つに分けて、実際の言説を取り上げながらより詳しく話をすすめていく。

#### 4.1.1 歯列矯正と健康

機能美の中でも特に「健康」の話題に注目すると、「美しい歯並びは全身の健康につながる」、「美しい歯は長く使える健康な歯」、大きくこの2点に関する言説が目立った。このように「機能美」の「機能面」の方に重点を置いたことは、主に中高年に向けて投げ掛けられたものである。ある程度年を重ねた人々に対して、未来に向けて美しく老いるための

---

<sup>3</sup>美容整形と病理については 4.1.2 で詳しく述べる。

「投資」として歯列矯正を勧めているのである。専門家の言説は、人々に矯正治療を受ける正当な理由を与えている。いくつかの書籍から抽出した文章を以下に示す。まず〈美しい歯並びは全身の健康につながる〉ことに関する引用、次に〈美しい歯は長く使える健康な歯〉であることに関する引用である

〈美しい歯並びは全身の健康につながる〉

- ・「なお、歯並びが整うと単に見た目が美しくなるだけでなく、健康面も改善します。あごがずれると身体の重心もずれ始め、背骨や骨盤などもゆがんでしまいます。(中略) 一方で、歯並びが整うと身体の重心も安定するので、身体全体もゆがみにくくなり、健康を維持しやすくなるというわけです。」(宮島、2021：58)
- ・「歯は、健康に直結するものです。ブランド品にお金をかける前に、自分のからだ、健康に投資し、それでからだのなかからきれいになったほうがよっぽど価値ある投資です。」(橋場、1997：105)

〈美しい歯は長く使える健康な歯〉

- ・「歯並びの矯正は、(中略) 美しく老いるためにするのだと思います。(中略) そうした人生の美しさも味わいも、健康という二文字がなければ実現しません。」(橋場、1997：143-144)
- ・「年とともにもっともっと美しくなるには、若いころにきちんと整えた歯の機能をいつまでも維持することです。それが肌の状態や美しさにも反映してくるのです。」(橋場、1997：144)
- ・「歯並びをよくするのは、美しさのためだけではありません。実は、矯正歯科は予防医学の最上流といわれます。死ぬまで自分の歯で食べること、そのために歯の健康を歯並びから考えていくこと、それが健康長寿にいかにか大きく寄与しているかをぜひ知っていただきたいと思い、本書を著しました。」(宮島、2021：4-5)
- ・「歯並びをきれいにすることは、単純に見た目を美しくするだけでなく、ゆくゆくはその方の健康をも守ることになると考えると、これはとても正しい自分への投資のような気がするのです。」(宮島、2021：41-42)

#### 4.1.2 歯列矯正と外見の変化

「本来もっている美しさが、歯並びが悪いために崩れてしまっている。そういう人が本当に多いのです。そういう人は、正しい歯並びの位置にするだけで、見違えるようにきれいに、健康的になれます。顔にメスを入れたり、人工的に異物を入れるのではなく、自分が持っている素材だけで美しくなれるのですから、これほどステキなことはありません。」

上記の引用は、ここまですでに何度か引用した『美意識革命』の一節（橋場、1997: 110）である。先述の通り歯科矯正医の語りは、「機能美」によって歯列矯正の正当性を強調することが特徴的である。

なお医師たちは先ほどのように「機能美」の中の「健康」に重点を置いて語ることもあれば、「見た目」について語る場合もある。そこで以下では特に、歯科矯正医が「機能美」というキーワードを用いて、歯列矯正で「見た目」を変えることをどのように正当化しているのか検討を行う。このときよく用いられるのが、他の身体加工との比較であり、歯列矯正は自然な美しさを引き出すという語りである。

まずはいったん歯列矯正から離れ、身体加工一般とそれに対する忌避感について見ていこう。『美容整形と化粧の社会学』（谷本 2008）では、美容整形の歴史的な経緯が次のようにまとめられている。

「整形手術は、そもそも身体的欠落の治療として行われていたが、一般的ではなかった。というのも身体は神（王、親）によって与えられたものであって、簡単に加工してはいけないものであったからだ。」

「第一次大戦と第二次大戦の間に、美容整形はある程度まで許容されるようになってくる。その場合、身体的欠陥の治療でなければ、『劣等感やコンプレックスの克服』あるいは『不幸からの脱出』という理由付けが必要とされた [注記略]。」

「そもそも歴史的に、美容整形は劣等感という概念を持ち出して、美醜の問題を健康と病気の問題に置き換えることで正当性を持ちえた代わりに、病気と見なされる場合が出てくるのは当然だろう。」（谷本 2008: 18-19）

このように美容整形は病理として捉えられがちである。ギムリン（2002）に依りつつ谷本はさらに、「美容整形は実際のところ多くの点で他のボディマネジメントと類似しているにも関わらず、女性の内的抑圧・自己嫌悪・うぬぼれのシンボルとして解釈され、そのせいで、整形と他の美的実践は差異化される」（谷本 2008: 19）としている。その点、歯列矯正は医療であるとの認識があるため、病理的な側面はほとんど感じられないようになっている。また、歯科矯正医は美容整形等との比較を行うが、その際美容整形の病理性を認めた上で、それに対して歯列矯正の自然さ、正当性を語っている様子が見えてくる。

しかしもちろん歯列矯正も、身体加工に対する忌避感を完璧に免れているわけではない。例えば抜歯を嫌がる人は一定数存在する。実際に今回検証した書籍においても「歯を抜きたくない！」<sup>4</sup>「なぜ抜歯が必要なのか」<sup>5</sup>「歯を抜くか、抜かないかの問題」<sup>6</sup>といった小

---

<sup>4</sup> 『人生を変える！本当の矯正治療』（田中 2021:157）

<sup>5</sup> 『一生モノの美しい歯並びを手に入れる方法』（浅野 2012: 69）

<sup>6</sup> 『美しい歯と歯並び』（山崎 2021: 67）

タイトルが見られる。

また、欧米では「ドラキュラの歯」と忌み嫌われる八重歯が、日本では「かわいい」ともてはやされる風潮さえある（資料5）。アイドルグループ AKB48 の板野友美に憧れて、付け八重歯をする人がいたほどである<sup>7</sup>。これは海外ではありえないことであろう。病理として捉えられることはほとんどなく、人々の抵抗感も少ない歯列矯正ではあるが、ありのままがかawaiiとされがちな日本においては、歯科矯正医が歯列矯正の「自然さ」を説く必要があるのかもしれない。

そして〈歯列矯正によって引き出される美しさは、他の身体加工と違ってその人本来の美しさである〉という趣旨の言説を支えているのは、やはりこれが医療行為であるという正当性である。〈治療を経て、本来の美しさを手に入れる〉という趣旨の逆説的な語りは、歯列矯正が医療行為であるからこそ成立するものである。機能を回復するために、歯を本来あるべき場所に正しく配置し直した、その結果見た目が変化したとすれば、そちらが正しく、また本来の自然な見た目であるのだ。見た目を变える「おしゃれ」は様々であるが、その中でも歯列矯正は医療行為であるという正当性の下で、外見の変更に正当な理由を付与することに成功しており、治療への忌避感はやわらげられている。

矯正と見た目の変化について、上記にかかわる語りを抜粋して以下に示す。

- ・「矯正治療というのは、健康的な噛み合わせを実現しながら、本来その人が持っている美しさを引き出すこともその役割だと私は考えています。何かを足したり盛ったりすることなく、その人の素材を大切にしながら美しさを追い求めているのです。その人の素材を出し切ったところが矯正治療のゴール。（中略）美容整形は短い時間で美しい見た目を手にすることができます。それと比較して矯正治療には、年単位の時間がかかりますが、そこには健康と、その人自身が本来持つ美しさを引き出すという目的があることも知っておいてほしいと思います。」（田中、2021：42）
- ・「『天然の歯を、美しく機能的な状態に回復させる』のが歯列矯正の目的です。本来持っている顎の機能（下顎の動き）に合わせて歯を並べ、機能を回復させます。その結果、健康定な美しさを手に入れることができるのです。」（古田、2021：40）

ここまで本節 4.1 では歯科矯正医の言説を具体的に紹介し、検討を行ってきた。歯列矯正の特徴は、美容と医療のはざまに位置することであり、歯科矯正医は「機能美」という正当性を全面に押し出し、治療のメリットを語る。歯科矯正医は「機能美」を盾にすることで、患者を歯列矯正に踏み切らせるに足る理由を提供することが可能になっている。

---

<sup>7</sup> 2012 年 08 月 04 日朝日新聞朝刊「付け八重歯ガール増殖」より（資料5 後半参照）

#### 4.2 個人の社会階層を可視化する歯並び

「歯並びが悪い人は育ちが悪い」「歯並びが悪い人は仕事ができない」「歯並びが悪い人は教養がない」……。書籍を読み進めているとたびたび「歯並びが悪い人は～」という語りが登場する。この語り口が多用されることは、歯並びが個人のある側面を可視化するメディアとして機能することの証明であると言えよう。『美意識革命』（橋場 1997）には次のようなセリフが登場する（橋場 1997: 104-105）。

「たとえば漫画でも、自信のなさそうな人や心のせまい人が出っ歯の姿で描かれたり、頑固で融通がきかない人、不器用な人が受け口の顔で描かれたりします。（中略）洋画では特に浮浪者やガラの悪い少年など、どこか心や生活に屈折のある役は、歯並びが悪かったり歯が汚かったり、どうみてもさわやかとは縁遠い人を起用しているようです。あるいはそのように演出しているのかもしれません。」

「こんなふうに、歯並びが悪いことが、よくない人格のひとつの象徴として使われることがあります。」

上の引用は、歯並びの良し悪しと属する社会階層とが、社会通念上、関連づけられがちであることを、巧みに示そうとした例である。また別の書籍では、日本の大手航空会社の国際線ファーストクラスにおいて、あるキャビンアテンダントがアメリカ人経営者から、「一流の接客を謳うのであれば、接客する人もまた一流でなくてはならない」（森下 2020: 24）と、八重歯を理由に接客を断られてしまったという例が挙げられたりもしている。次の文章も、海外に例をとりながら、歯並びのよしあしとその人物の社会的評価に強い影響を及ぼすことを示そうとしている。

「（アメリカでは）歯並びの悪い人も出世できないといわれています。歯並びはひとつのステイタス・シンボルと考えられ、歯並びがきちんとしていなかったら、育ちが悪いとか、しつけがしっかりできていないという烙印を押されてしまうのです。社会に出てからは、仕事ができない人、教養のない人と判断され、エリートへの道は閉ざされてしまいます。」（橋場 1997: 12）

「ビジネスマンでも、エリートコースにのろうと思ったら、お給料をはたいてでも歯並びだけは治す。それが常識なのです。熾烈な競争社会を勝ち抜くためには、健康で知的なイメージを身に着つけ、大勢の人に好感をもたれなければなりません。」（橋場 1997: 13）

歯並びが悪ければ「育ちが悪い」「しつけがしっかりできていない家の子どもであった」と過去を決めつけられ、「仕事ができない」「教養がない」と判断され、また「出世できない」と未来をも閉ざされる……。アメリカをはじめとして、欧米諸国ではこの考え方が特に強いという前提のもとで、歯科矯正医の書籍では章や節タイトルに日本の状況について



次のようなフレーズが目立つ。すなわち、「日本は歯に対する後進国」(橋場、1997)、『日本は歯科後進国』だと思い知らされた留学時代」(森下、2020)、「先進国の中で歯並びが悪くても平気なのは日本人だけ」(宮島、2021) など、〈海外と比べて日本は遅れている〉、〈追いつかねばならない〉といった趣旨のことばである。現在日本でも歯に関する意識が高まりつつあることを考えると、今後日本でもより一層、歯並びが社会階層や生育環境を示すようになると予想される。そのため、歯並びがどのように個人の社会階層や生育環境を表すのかを検討することは、今後の日本の社会を考える上で意義があると考えられる。

そこで以下では実際の書籍の言説をさらに用いて、歯並びの悪さが具体的に個人の属性をどのように表すのか、育ちと能力の2つの視点からそれぞれ検討を行い、実際に新聞記事や公開されている SNS 投稿から、人々の声を拾う。

#### 4.2.1 育ち

まずは歯並びの悪さによって、個人の育ちがどのように想定されてしまうのか検討しよう。『歯並び美人で充実人生』(宮島 2021) には「歯並びが悪いと、だらしない、不潔、仕事ができなさそう、などといったマイナスのイメージを相手に与えがちです。その逆に、歯並びがよいと、育ちがよさそう、さわやか、清潔、仕事ができそうなどといった印象を与えます。」(宮島 2021: 62) とあり、その理由として、「欧米はもちろん、日本においてもある程度の収入がある家庭では、子どもの歯並びが悪いと矯正させることがほとんどです。こうした傾向が少なからず世の中に浸透している」ことを挙げ、「”矯正をできるだけ収入がある家→見た目や健康に対する意識が高い環境で育っている→育ちがいい”という印象を与えるのではないか」(宮島 2021: 62-3) としている。

このように歯並びの良し悪しはまず、その人がどのような家庭で育ったのかという、出身階層をはかるものさしとして機能している。そこでここからは、歯並びが表す育ち、ひいては親と子の関係性に注目し、人々のまなざしやそれに関する悩みを検討する。

下記ではまず、歯科矯正医の書籍から、育ちに関する言説を抜粋し、A〈子どもの能力を最大限発揮させる歯列矯正〉、B〈子どもの歯並びをよくするための育て方〉、C〈歯列矯正は親の義務〉の3つに分類を行い、まとめている(資料6も参照のこと)。

##### 言説タイプ A 〈子供の能力を最大限発揮させる歯列矯正〉

- ①「健康な歯を育てていくための取り組みは、実は乳幼児の頃から始まっています。そして、歯並びが整い、口の中が健やかに保たれている子どもたちは集中力や瞬発力にも優れ、脳も活性化されるので、その子ならではの能力を十分に発揮しながら成長できます。」(宮島、2021: 5)
- ②海外や日本の富裕層が子どもの歯にお金をかけるのは、決して見栄からくるものではありません。歯が子供の知能、身体能力を伸ばし、また健康にすることを彼らは理解しているのです。」(森下、2020: 62)

- ③「よく噛むことは特に、学習能力の向上に直結する記憶力の向上につながります。」(古田、2021:119)
- ④「(よく噛むことは)味覚の発達にも重要な役割を持ちます。」(古田、2021:119)
- ⑤子供が一生歯や口元の悩みを持たずに、明るい笑顔で豊かな人生を歩むためにご活用ください。(古田、2021:42)
- ⑥歯並びは心と体の健康をささえ、その後の長い人生に大きくかわる性格や学力、体力などのカギを握る大事な要素です。歯並びが悪くていいことは一つありません。(古田、2021:158)

まとめると、歯並びは知能面や身体面、ひいては性格面にまで影響を及ぼすので重要であり、歯並びをよくすることは子どもが素敵な人生を歩むために必要不可欠である、ということが述べられているといえよう。

#### 言説タイプB〈子どもの歯並びをよくするための育て方〉

- ①毎日、意識して歯並びがきれいになる子育てを実践できるように本書では、できるだけ具体的にその方法ややり方を解説したつもりです。(倉治、2011:186-187)
- ②歯並びの良し悪しにかかわる生活習慣は、0歳から始まります。本人の意識というよりも、親や養育者の子育てから影響が始まっているのです。授乳の仕方、離乳食の与え方、食事中にどう座らせるか、どのような食材を選ぶか。もう少し大きくなると、寝ているときの向き——あおむけか、うつ伏せか、横向きか——などによってあごの骨の位置がずれたり、歯並びが悪くなったりすることがあります。(宮島、2021:98)
- ③(八重歯は)顎がじゅうぶん発達しなかったためにおこるのですが、軟らかいものばかりを食べた偏食の結果、いい換えれば甘やかされて育った象徴ともいえます。(橋場、1997:21)
- ④じつはこの軟食傾向は赤ちゃんのときから始まっているのです。それは人工ミルクと乳児期の離乳食です。(中略)母乳のころは、まだよかったのです。(中略)栄養のバランスや作る手間を考えると、こういうものに頼りたくなる気持ちもわかりますが、子どもの歯や顎の成長には少々問題があるのです。(橋場、1997:50-51)
- ⑤幼児の指しゃぶりは、歯並びを悪くする大きな原因になります。(中略)子どもの指しゃぶりは、乳首を吸う代償行為で、安心感を得るためのもの。「もっとスキンシップがほしい」という信号でもあります。(橋場、1997:53-34)
- ⑥ひいては、親がそうした(自分の身体をきちんと管理する)意識を持って子供を管理しているかどうかということにもなるため、歯並びが悪い＝育ちが悪い、という見方をされてしまうこともあります。(宮島、2021:16-17)

文中では、歯並びは遺伝だけでなく親の育て方にも大きく影響を受けるものであること

が繰り返し述べられており、具体的な子育て方法を示した書籍や雑誌が販売されている。(B①,B②) 紹介されている具体的な子育て方法を見ていくと、子どもの歯並びを良くしたいなら、母親は楽をしてはいけない、昔ながらに時間をかけて丁寧に子育てするべきだという良妻賢母規範も透けて見える。特に人工ミルク (B④) の話はわかりやすいが、他にも顎が十分発達しないのは柔らかいものばかり食べた偏食の結果 (B③)、指しゃぶりをするのは愛情が足りないから (B⑤) などがある。

もちろん、丁寧に時間をかけて子育てをしたほうが子どもの歯並びに良い影響を与えることは事実なのだろう。しかしこれを逆手に取れば、良い母親であれば子どもの歯並びは悪くならない、すなわち歯並びの悪い人は育ちが悪い (B⑥) という解釈や考え方にまた一つ正当な理由を与えている。

過去の新聞報道をさかのぼると、例えば 2006 年の千葉県では、口内環境の良さを競うコンテストで表彰された母子についての下記のような記事 (2006 年 11 月 18 日朝日新聞朝刊千葉県版) がある (原文縦書き [部分]、写真略)。

#### 母子でよい歯、キラリ優秀賞 習志野の三枝さん /千葉県

厚生労働省などが主催する「母と子のよい歯のコンクール」で、習志野市在住の三枝正恵さん (31) と長女の和香ちゃん (4) が、昨年度歯科健診を受けた全国 101 万 7 千組のうちの優秀賞 6 組に選ばれ、16 日、荒木勇市長に報告した。

2 人は昨年度の 3 歳児歯科健診で市の推薦を受け、今年 7 月に県知事賞を受賞。9 月の国のコンクールで 36 組のうち優秀賞 6 組に選ばれた。和香ちゃんはもちろん、正恵さんも虫歯ゼロ、治療の経験も奥歯の 1 本だけ。歯並びや口の中の健康状態も含め、総合的に高評価を得た。

正恵さんは「特別なことはしていませんが、朝晩に丁寧に歯みがきをし、半年に 1 度家族で歯科検診にいらしています」と話していた。

さらに遡れば、子供の歯にかかわる問題を指摘したケースもある。「歯並び異変」と題された記事 (1984 年 11 月 24 日朝日新聞、連載記事「子ども新時代」) では、歯科医師への取材にもとづき、子どもの軟食傾向と歯並びについて以下のような記述がみられる (主要箇所抜粋)。

「あご、歯の発達が十分でない子が、急増している」「歯並びの悪い子は、五、六年前では、十人に一人いるかどうかだった。だが、数年前から急増し、この一年間の新しい患者だけでみると、約六割は歯並びに異常がある」「乳歯の生える時期から、永久歯に生え代わる時期にかけて、歯ぐきとあごが十分に鍛えられてない」「歯並びの悪い子の親に、

食事の内容を聞くと、リンゴは小さく切って与えるか、ジュースにして飲ませる。そのまま調理した肉より、ハンバーグやハムのような加工品を好む、といった共通点があった。さらに、ほとんどの母親が三十歳以下、というのも共通していた」

先ほどの引用②③④と同趣旨の記事である。タイプ B（子どもの歯並びをよくするための育て方）の言説が、歯科医師の著作だけでなく、より広い影響力のある新聞メディアにもかなり早くから現れていたことを示す事例といえよう。

#### 言説タイプ C 〈歯列矯正は親の義務〉

- ①「(歯並びは見た目だけでなく、発音やそれに伴う話しぶりにも影響を与えるため)若いうちに歯並びを整えることは、親が子にほどこすしつけの一部であり、身だしなみでもあるのです。」(橋場、1997: 14)
- ②「お子さんの歯並びが心配な場合には、小学校に入ったくらいの頃に、矯正の専門医に相談されることをお勧めします。(中略) いずれにせよ、一期治療は限られた期間にしか、行えない治療ですから、そのタイミングを逃がさないようにしたいものです。」(森下、2020: 75)
- ③「子どもの矯正治療のほとんどは、親の希望でスタートします。そこをしっかりと自覚してください。子どもは最初のうちはやる気を見せるでしょうけれど、長い治療の中で飽きてくること、めんどうになってしまうことはよくあることです。」「そんなとき (中略) 子どものモチベーションを上げる努力をしてほしいですね。」(倉治、1997: 159-160)
- ④「また矯正治療中の虫歯は、治療を中断させる原因になります。(中略) 親の協力は不可欠ですから、親のほうも心の準備をしてください。」(子育てできれいな歯並びを!、倉治、1997: 160)
- ⑤「子どもの歯並びは親の責任が 100%」(森下、2020: 69)
- ⑥「欧米はもちろん、日本においてもある程度の収入がある家庭では、子どもの歯並びが悪いと矯正させることがほとんどです。こうした傾向が少なからず世の中に浸透しているせいか、(中略) ”矯正をできるだけ収入のある家→見た目や健康に対する意識が高い環境で育っている→育ちがいい”という印象を与えるのではないか」(宮島、2021: 62-63 [本項 4.2.1 冒頭での引用の再掲])
- ⑦ (著者の留学時の感想として)「もし親が矯正治療を受けさせてくれっていなかったら大変だった・・・」(森下、2020: 4)

歯列矯正が親の義務であるという言説は、先述の A (cf.C①) が大きな理由となっているが他にも、治療開始時期の問題 (C②) が挙げられる。いずれにせよ、歯列矯正が親の義務であるという考え方は、歯科医師が出す書籍を読むような意識の高い人々の間ではかなり浸透していると思われる (C③~⑥)。そしてこの認識が広まれば、「歯が悪い人は親が歯列

矯正の義務を果たさなかった(果たせなかった)」つまり育ちが悪いという解釈をより正當なものにすると思われる。では、実際に人々は歯並びについてどのようにまなざしているのか。SNS への投稿からピックアップしておきたい(図表3 参照)。ここまで見てきた言説タイプC(歯列矯正は親の義務)と同様の認識が存在することが読み取れる。



【図表3】SNS 投稿にみる歯並びへのまなざし(1)

出所: twitter への公開されている投稿より引用。"ハンドルネーム・アカウント名・投稿日"は、左上から時計まわりに、〔よわきちゃん・@yowakichan・2022/12/19〕、〔yume・@\_ym00x・2022/04/15〕、〔透明な色(鬱病復職中)・@tomeina\_iro・2022/05/03〕、〔アンジェラ・ビーマイベイベー・@kusobbadance・2018/02/23〕。

#### 4.2.2 能力

美しい歯並びは、個人の能力をはかる指標になる。この節では、歯並びがどのように個人の能力、ひいては階層を示しうるのか検討していこう。『世界の一流はなぜ歯に気をつかうのか』(森下 2020)では、エリートが歯を大切にする理由として、以下の4点が挙げられている。Ⅰ美しい歯は、富、育ちの良さ、ステータスの象徴である。Ⅱ美しい歯は、自己管理能力を反映する。Ⅲ美しい歯は、自信あふれる笑顔の発信源である。Ⅳ健康な歯は、全身の健康の基盤である。欧米人が歯で相手を値踏みする根拠は上記の4点である。美しい歯は、Ⅰ・Ⅳのようなこれまでも繰り返されてきた対面的印象の問題だけでなく、Ⅱ自己管理能力やⅣリスク管理能力を示すメディアとしても機能しうるのだ。

続いて、歯は個人の能力、ひいては社会階層を表すメディアであるということに関して、数冊の文献から引用した文章を以下に示す（資料8も参照のこと）。

- ・「(外資系ホテルでは) 歯がきれいかどうか、これこそがお客様を見極める際の指標となっているのです。」(森下、2020：10-11)
- ・「我々歯科に関わるものは、歯を見れば、その人のバックグラウンド、さらには物事に対する考え方や、生活感などをイメージすることができます。それは『職業病だから』と思われるかもしれませんが。ところが、欧米のエリートは、同じようなチェックを瞬時に行っているのです。いま目の前にいる相手が、付き合うに値するバックグラウンドの持ち主なのか、そして今後付き合うレベルの人物か否か―判断材料は、服装、話の内容、言葉遣い、態度など様々ありますが、それ以上にみられるのが歯なのです。」(森下、2020：36)
- ・「長い期間放置してある歯は、簡単には元には戻りません。だからこそ、自己管理能力が問われるのです。」(森下、2020：37)
- ・「(世界のエリートに共通した) 行動様式とは、『この結果を出すために、いつまでに仕事を仕上げる必要があるか』、つまり彼らは何をするにも、まず逆算して考えるのです。(中略) 歯が健康でなければ、食事はままならず、そして全身に不具合がでる。当然、仕事にも大きな影響が出てしまう。それを避けるためにも、エリートたちは歯を大切にします。つまり歯の健康管理は己のリスク管理の一つなのです。」(森下、2020：40)
- ・(松尾泰一へのインタビューで)「金融街やハーバードには歯並びの悪い人はいなかった」(森下、2020：128)
- ・「日本以外の先進国で歯並びが重視されている(中略) 大きな理由としては、歯並びが整っている＝矯正治療などで自分の身体をきちんと管理できているという証になっていることがあげられます。」(宮島、2021：16)

#### 4.2.3 ハビトゥスとまなざし

以上、この4.2節では歯並びの良し悪しが個人の階級を表すメディアとして機能しているのではないかということ、育ち・能力面にそれぞれ注目して実際の言説を元に検討を行ってきた。

ここからは歯並びが個人の社会階層を表すとはどういうことなのかを、まず、ハビトゥス概念を用いて考察してみたい。概念の説明を行うにあたっては、『ボディ・スタディーズ』(デメッロ 2013 [2017])を参照する。ハビトゥスとは、「身体の技術」(Les techniques du corps, 1934)という論文においてマルセル・モースが考案したものであるが、ピエール・ブルデューがさらに深化させたこの概念の内容は、デメッロによれば以下の通りである。

この語はある人の価値観、習慣、嗜好、生活様式が生活の経験を通じていかに獲得され、その人の文化の一部として強固に根付くようになるのかを表すものである。こうした文化

実践とそこに付随する価値は、社会集団に共有される身体的な習慣・技術・嗜好を通じて、身体に見いだされる。姿勢、大衆、疾病も、社会集団に共有され、その社会集団へと社会化されていく。ブルデューにとってハビトゥスとは、身体が「ある世界の内在的な構造を組み込んで」(Bourdieu 1998: 81) いき、転じて認知や行為を構造化していく様式なのである。(DeMello, 2013 [2017: 132])

デメッロによる同書の他の箇所では、階級がハビトゥスを培う主要な一形態であること、実際身体の差異を創り出しているものは労働の種類であること、そして貧困のなかで成長する過程は、富裕層とは異なる食事・衣服の選択・有毒物質・疾病にさらされることを意味する、等のことが述べられている。その上で、「富裕層と貧困層は階級の違いを異なる形で身体化するだけでなく、そうした差異はことなる評価をされることになる」との指摘がある。ファストフードを食べるよりも手作りの寿司を食べることに象徴的に価値があるというように、ハビトゥスには象徴的権力があるのだ。

以上を踏まえるなら、歯列矯正は“ハビトゥス”という概念で捉えられるのではないだろうか。きれいな歯並びは社会的に地位の高い人々の行動様式、価値観の産物と捉えることができる。歯医者に通ってメンテナンスを行い、自分自身を管理できる人間、そして子どもの歯並びに注意を払って子育てをする余裕のある家庭、また必要ならば歯列矯正をさせられる家庭の子どもは、歯並びがきれいなのである。つまりきれいな歯並びは、社会階層の上位に位置する人々の文化が身体化された一つの例である。そして、それが転じて美しい歯が社会的階級の高さの象徴となった、つまり歯並びが良いことに象徴的権力が与えられるようになったのではないだろうか。

見田宗介が「麦めしが貧乏くさいのは、それが麦めしを食う人間の、ある状況の総体性を記号化(シグニファイ)しているからだ」(2008: 50 [傍点原文・( )はルビ])と述べたように、歯並びの悪さが社会階層の低さを連想させるのも、歯並びが悪い人間がおかれた状況を記号化しているからではないか<sup>8</sup>。歯列矯正は歯へのまなざしのコントロールを可能にする。見田(2008: 46)が「都市が人間を表相によって差別する以上、彼もまた次第に表相によって勝負する」と指摘する事態の一つであるといえよう。

しかし、たいていの場合において保険適用外である歯列矯正は、治療費が高額であり、階級を克服しようとする者たちにとって簡単に手を出せる治療ではない。このことに関わる SNS 投稿からは、親にお金を出してもらえなかった人々が社会人になってローンを組

---

<sup>8</sup> 見田 (2008: 40) は服装や容姿、あるいは学歴や肩書といった表相性において「ひとりの人間の総体を規定し、予料する」他者のまなざしは、人間が「とりむすぼうとする関係の一点一点をその都度偏曲せしめる」ことをとおして、「執拗にそして確実に、彼の運命を成形してしまう」と指摘する。



み、治療に取り掛かる様子がみてとれる（図表4参照）。お金のない人がさらにお金を払わねばならない負の連鎖が出来上がっていることがわかる。また、奨学金と歯列矯正が並べて語られる様子も散見され、歯列矯正が教育費と同列視されるほどになかば義務化していることも感じさせられた。



**ししゃもてやん @shisham0chan** · 2020/09/24 ...

本当にこれだわ...  
親元で歯科矯正済み、奨学金なし、親にクルマ買ってもらうとかコンボしてたらウン100万浮く  
そういう人を恨むとかってことはないけど  
そういう人にも色々しがらみがあったりはするんだろし



**打倒遺伝子ちゃん 肌管理...** · 2021/01/30 ...

みなさん聞いて!!!  
矯正の借金残額 52万円完済した!!!  
あとは奨学金のみ(死)!!!!  
小学生の頃からずっと矯正したくて、奨学金もあるのにこれ以上借金増やして大丈夫かなって悩みに悩んで治療を決めてからもずっと不安だった私に伝えてあげたい  
大丈夫あなたはちゃんと返済しますよって

振込金額	
振込金額	: 520,000円
振込手数料	: 0円
合計引落金額	: 520,000円

振込日	
依頼日(引落日):	2021. 1.30 (土)
振込日	: 2021. 1.30 (土)

※振込明細の照会可能期間は3カ月(最大100明細まで)です



**うさぎ @usagichan\_99** · 2022/12/27 ...

あとリボが39万と矯正のローン48万程なんだけども今年中は無理だったから2月か3月までに支払い終えたい



**みうこ @okuimiuko** · 2020/09/07 ...

学生のうちに脱毛と歯列矯正終わってて奨学金という名の借金背負ってないのってめちゃめちゃ良い社会人生活のスタートダッシュだよなあ  
これにそれなりの充実した学生生活と培ったコネと留学経験と免許と多少の資格とかがあればさらに強い



**絶望 23歳 @godamn2525** · 5日 ...

歯並び悩んでる人は歯列矯正はローン組んでも20歳になったらやるべきだと思う。本当に。  
親がお金出してくれなかったとか言い訳しないで20歳になったらやるべき。



**ちゃんみき(婚活) @Lehp6ehTBimQOxD** · 2022/04/16 ...

子供出来たら歯科矯正させたいし奨学金なく大学行かせてあげたいなー  
私は自分のお金で150万かけて矯正したし奨学金もまだ残ってる。  
親ガチャが外れたとは思ってないけどもう少し裕福な家庭だったらなとは思ってしまう。



**マヨ @kmnk\_chan** · 2021/07/15 ...

整形のために44万円、歯の矯正で83万、奨学金があと200万円、辛い人生だ

【図表4】SNS 投稿にみる歯並びへのまなざし(2)

出所: twitter への公開されている投稿より引用。"ハンドルネーム・アカウント名・投稿日"は、左上から時計回りに、〔ししゃもてやん・@shisham0chan・2020/09/24〕、〔みうこ・@okuimiuko・2020/09/07〕、〔絶望 23歳・@godamn2525・2022/12/29〕、〔ちゃんみき(婚活)・@Lehp6ehTBimQOxD・2022/04/16〕、〔マヨ・@kmnk\_chan・2021/07/15〕、〔うさぎ・@usagichan\_99・2022/12/27〕、〔打倒遺伝子ちゃん 肌管理強化中・@im\_naritai・2021/01/30〕

「歯並びが悪い＝貧乏」といった他人からのまなざしをかいぐくろうと、歯列矯正を行うことには懸念点もある。見田(2008)は「他者たちの視線を逆に操作しようとする主体性の企図をとおして、いつしかみずからを、都市の要求する様々な衣裳をこてこてと身にまとった、奇妙なピエロとして成形する」(見田 2008: 60)と述べる。この指摘は、先ほ



ど紹介したツイートで見られたように、ローンを組んだり、他にも歯列矯正を脱毛など一連の美容施術と並べて語り、次から次へと新たな施術を行おうとする人々に対する忠告なのかもしれない。

## 5 歯列矯正という希望

本章では歯列矯正へのポジティブなモチベーションについて、検討を行う。

### 5.1 美容整形実践者の語り

実践者の能動的モチベーションを検討するにあたっては、すでに前章でも引用した『美容整形と化粧の社会学』（谷本 2008）を参考にしたい。谷本は美容整形実践者の語りにおいて、「美の神話」「見た目依存社会」といった社会的な強制力を認めた上で、「自己満足」というモチベーションに注目し、実践者の語りに重点を置いて研究を行った。谷本が2005年に実施したアンケート調査においても、「あなたが身体加工をするのはなぜか」という質問<sup>9</sup>に対する回答で、「自己満足のため」を選択した人は66.1%を占めて圧倒的に多かったのだという（谷本 2008: 36）。美の実践という社会的な強制力を否定することはできないものの、谷本が「自己満足」というモチベーションの強さを指摘したことは極めて重要である。

そこで以下本章では、谷本と同様に歯列矯正のポジティブな側面について考察を行う。その際、患者レポートを参考に、実際の人々の声にも注目し、個人の人生の中で歯列矯正がどんな意味を持つのか検討する。

### 5.2 消費活動とは何か

私は、人々は未来に希望を託すべく、歯列矯正を行うのではないかと考える。より具体的に言うと、歯列矯正は消費活動の側面を持っており、人々は歯列矯正を「買う」ことで理想の未来を掴もうとしているのではないかと思うのだ。そこで本節では歯列矯正が消費活動の側面を持っていると私が着想するきっかけとなった、G.マクラッケンの『文化と消費とシンボルと』の第七章「事物の喚起力＝消費と希望、理想の保存」を簡単にまとめ、消費財と理想の保存の考え方を説明する。

マクラッケンによると人々は、理想と現実の普遍的矛盾に文化をもって立ち向かっている。その具体的な方法として「モノに意味を置き換えること」がある。大切な理想が傷つけないよう、理想を現実とは離れた過去や未来・別世界に置くのである。人々はその理想を「モノ」に置き換える。モノを遠くにある理想への架橋であると考え、所有を熱望する。モノを心に思い起こすとき、こうした物品が個々人に、モノだけでない、はるかに大きな所有品、態度、環境、機械のセット、つまり理想的環境の所有を予想させるのだ。例えば薔薇のコテージは、完璧な配偶者と過ごす完全に幸福な人生という抽象的な観念を、実体にさせるのだという。個々人は熱望した生活スタイルの小さな、具体的な部分を取得する

---

<sup>9</sup> ここでの一般的な身体加工は、髪を切ったり、洗顔したりすることを指している

ためにモノを買う。架橋である物品が、この生活スタイルの实在の証明として、それを主張する個々人の能力の証明としてさえ奉仕するのである。

人々は理想をいまここではない場所に避難させる。理想の意味を置きかえた「モノ」を追い求めることは、「事態は現在のところ理想に沿わないかもしれないけれども、それがそうなる時間または空間があると想定させる」。意味の置き換えが私たちに、望みをかけ、希望をささえるのをゆるしているのである。

### 5.3 歯列矯正という消費

歯列矯正はこのような特徴を持つ消費活動のひとつと捉えられるのではない。人々は歯列矯正を、ただ美を追い求めたり、ただ健康を手に入れたりするための施術や治療としてだけでなく、消費活動としても捉えているのではないだろうか。歯列矯正を通して、人は理想を抱き、夢を描く。歯列矯正は、人々の理想を保存する消費財であると主張したい。

歯並びの良いきれいな歯というのは「モノ」の役割を果たしていると思われる。美しい歯並びに良い未来という意味を置き換え、歯列矯正をそのための手段として渴望する。その証拠に、今回とりあげた書籍や新聞記事、twitter からは、「歯列矯正をすれば、望む未来が待っている」という言説が高い頻度で登場する。

以上から私は、人々が歯列矯正を通して未来を描いているということを指摘したい。歯列矯正後、きれいな歯並びを手に入れた「想像上の自己」を信じられること、そしてそれをかなえられる手段があるということは人々の生きる希望となるはずである。歯列矯正後の「理想の自己」を想像すること、なれると信じることで自体がアイデンティティの拠り所になっている可能性も十分ある<sup>10</sup>。そこで以下では、どんな希望が歯列矯正に置き換えられているのかについて、実践者のレポートを参考に紹介する。まずは歯列矯正後の患者について語る歯科矯正医の言説を一つ引用する。

(笑顔の印象がよくなると)その結果、プライベートでは恋人ができた、友達が増えた、周りから「最近きれいになったね」と言われることが増えたという患者さんの声をよく耳にします。ビジネス面でも、「積極的に相手とかかわれるようになった」「初対面の人とも仕事の話がスムーズに進められるようになった」「営業成績が上がった」などの手応えをお聞きします。(宮島、2021、166)

続いて実際の患者のレポートからもいくつか抜粋する。歯列矯正を勧める本にはたいて

---

<sup>10</sup> 谷本(2008:205- 206)は、美容整形とアイデンティティに関して、「『自己』は(中略)、加工するという『行為』や、このパーツが好きであるという『感覚・嗜好性』に宿るのかもしれない」と述べている。

いの場合、矯正終了後の患者のポジティブな様子が掲載されていたり、言及されていたりする。たとえば、「矯正が終わったら、スマイルトレーニングや、話し方も勉強して、もっといい役がとれるように頑張りたいですね [20 代短大生によるレポート「思い立ったらすぐやってみよう」からの抜粋]。」(橋場 1997:178)という声や、挙式に向けて矯正し『きれいな花嫁になりたい』という子供の頃からの夢もかないました」(深沢、2008:16)という言葉、「内面から輝いているような、理想の自分に一步近づけたような気がします」(深沢、2008:25)という感想などがあった。他にも、歌が好きで上手に歌えるようになりたいからという理由で矯正を始めた男の子が主人公のマンガが掲載されていたり(瓜生、2022:6-54)や大型バイクハーレーにふさわしい風貌になりたいというおじいさんの物語(伊藤、2007:26-30)があったりと興味深い。

## 6 ボディ・プロジェクト

ここまで本論文では、人々の言説を拾い上げることで、歯列矯正のモチベーションを社会強制力/希望的消費の二つの側面から捉え直し、歯列矯正を通して個人や社会について検討を重ねた。その中では、歯並びはただ歯の並び方に留まらず、強いメッセージ性や象徴性を持つものであることが確認できた。

ここで「ボディ・プロジェクト」について言及しておきたい。そもそもボディ・プロジェクトとは、「身体(特に外見)の変更を通して、自己アイデンティティを形成し、維持しようと試みるもの」(谷本 2008:5)である。谷本(2008)を参考に、他の議論もいくつか紹介しておこう。ボルド(2003)は意思によって選択したり作り出したりできる、つまり変えることのできる身体を「プラスチックボディ」と呼び、フェザーストン(1991)は消費主義によって身体が自己表現の乗り物になると主張している(両者からの引用は次段落をふくめ谷本[2008]に依る)。谷本は、『社会・文化によって煽られる形で、自己表現のために身体を変える』というのが現代の特徴であると、様々な論者によって主張され始めている」(谷本 2008:5)と指摘している。私は「ボディ・プロジェクト」の興隆は、歯列矯正に象徴的権力を付与することに一役買っているだろうと考える。

谷本はボルドの議論を次のようにまとめている。

「意志によって彫刻される『思い通りの形につくることのできる身体=人工的な身体=プラスチックボディ(plastic body)』という考えは、身体加工実践の暗い部分を隠してしまうとボルドは危惧する。たとえば、『私たちは自分の身体を選択できる』という考えは、これらの実践に従事するのに特権や金銭、時間が必要であることを見えにくくする。だが実際には、権力も金銭も時間も不平等にしか人々に配分されていない。また同時に身体加工実践にともなう負の側面(中略)も目立たなくしてしまうという」(谷本 2008:25)。  
しかも、以上のような幻想は多くの人にとって見えにくいものとされる。

上記の引用は、「ボディ・プロジェクトがあまりにも身近になり、身体が自由に換えられる社会において、「身体」すなわち見た目は個人の選択、ひいては個人の努力の産物と捉え

られるようになっている」、とまとめられる。そしてその考え方は、身体で個人を値踏みすることを肯定する大きな理由となるだろう。

## 7. おわりに

歯列矯正は非常に強いメッセージ性を持つ。ゆえに歯列矯正は社会から強制され、他方において希望の象徴として渴望される。歯列矯正を行えば、他者からのまなざし、ひいては自己に向ける自分自身のまなざしを操作することが可能であるが、見田が指摘したように、都市の要求に踊らされた奇妙なピエロとなる可能性も忘れてはならない。また身体が個人の努力の産物であるという考え方は、ボディ・プロジェクトの興隆と共にますます強くなるだろう。最後に、今後より一層歯列矯正を選択する人が増えた際、歯列矯正「しない」ことが逸脱性さえ帯びてしまうかもしれないと、指摘しておきたい。

## <文献>

- 浅野正一、2012、『一生モノの美しい歯並びを手に入れる方法』幻冬舎
- 安藤僚、2015、『歯であなたの未来を引き寄せる』ヒカルランド
- Bordo, S., 2003, *Unbearable Weight: Feminism, Western Culture, and the Body*, University of California Press
- Bourdieu, Pierre. 1998, *Practical Reason: on the Theory of Action*. Stanford University Press.
- DeMello, Margo. 2013, *Body Studies: An introduction*, Routledge(田中洋美, 兼子歩, 斎藤圭介, 竹崎一真, 平野邦輔、2017、『ボディ・スタディーズー性、人種、階級、エイジング、健康/病の身体学への招待』晃洋書房)
- 江戸川夏樹「付け八重歯ガール増殖」、『朝日新聞』2012年08月04日
- Exley, Catherine. 2009, "Bridging a gap: the (lack of a) sociology of oral health and healthcare" *Sociology of Health & Illness* 31(7):1095-1108.
- Featherstone, Mike. 1991, *Consumer Culture and Postmodernism*, Sage. (『消費文化とポストモダニズム』上・下, 1999, 2003, 川崎賢一・小川葉子監訳, 恒星社厚生閣)
- 深沢真一、2008、『スピード矯正完全ガイド：こんなに素敵な笑顔になれた：安心、安全、そして確かな効果を得るために』現代書林
- 古田博久、2021、『生まれる前からはじめる子どものデンタルケア』阿部出版
- Gimlin, Debra. 2002, *Body Work: Beauty and Self-Image in American Culture*. University of California Press.
- 飯田順一郎、2019、「特別企画：歯科のこの100年の歩みと今後の展望：ICD100周年に向けて」[矯正学 黎明期からこの100年の歩み-ICD100周年に向けて-]『一般社団法人国際歯科学士会日本部会雑誌』50(1): 10-14
- 石川富士郎・鈴木祥井・大野肅英、2003、「日本の矯正歯科学の歴史（Ⅳ）-発展期から現在まで-」『日本矯正歯科学会雑誌』62(5): 311-332

- 伊藤正夫、2007、『美しい歯物語：インプラント・成人歯列矯正・審美歯科のおはなし』ごま書房
- 倉治ななえ、2011、『子育てできれいな歯並びを！』主婦の友社
- 公益社団法人日本矯正歯科学会、最終更新年不明、「矯正歯科治療について」,日本矯正歯科学会ホームページ,(2023年1月10日取得, <https://www.jos.gr.jp/about>)
- 厚生労働省(各年)「患者調査」
- マクラッケン、G.、小池和子訳、1990、『文化と消費とシンボルと』勁草書房
- 日本顎咬合学会、2013、『噛み合わせが人生を変える』小学館
- 橋場千織、1997、『美意識革命：女性のためのステップ・アップ歯列矯正：Creation of beauty through orthodontics』史輝出版
- 見田宗介、2008、『まなざしの地獄』河出書房新社
- 南宏美「(患者を生きる：3600) スポーツ 歯のかみ合わせ：3 親知らず抜いて、矯正も」、『朝日新聞』2018年7月25日
- 宮島悠旗、2021、『歯並び美人で充実人生』合同フォレスト
- 無記名「歯並び事変」、『朝日新聞』1984年11月24日「子ども新時代 教育とは」
- 森下真紀、2020、『世界の一流はなぜ歯に気をつかうのか』ダイヤモンド社
- 田中憲男、2021、『人生を変える！本当の矯正治療：男も女も見た目が100パーセント』TC出版,万来舎
- 谷本奈穂、2008、『美容整形と化粧の社会学』新曜社
- 瓜生和彦、2022、『まんがでわかる！子どもの将来を明るくするマウスピース小児歯列矯正』幻冬舎
- 海月ルイ「八重歯は矯正すべきか」、『朝日新聞』2014年10月23日「サロン・ド・ウミヅキ」
- weblio 国語辞典ホームページ (運営：GRAS グループ)、最終更新年不明、「機能美」、デジタル大辞泉(2023年1月10日取得, <https://www.weblio.jp/content/%E6%A9%9F%E8%83%BD%E7%BE%8E?dictCode=SGKDJ>)
- 山崎潤子、2021、『美しい歯と歯並び』すみれ書房

<資料>

■資料名一覧 (括弧内は対応する本文の章節)

1. 歯列矯正の歴史 [2. 歯列矯正の概要]
2. 歯列矯正と保険適用 [2.1 歯列矯正と保険適用]
3. 「機能美」に関する歯科矯正医の言説 [4.1 歯科矯正医の言説]
4. 『歯並び美人で充実人生』目次の小見出し [4.1.1 歯列矯正と健康]
5. 八重歯に関する新聞記事の例 [4.1.2 歯列矯正と外見の変化]

6. 「育ち」にかかわる 3 種類の言説 [4.2.1 育ち]
7. 「子供の能力を最大限発揮させる」ための歯列矯正に関する新聞記事
8. 歯並びが個人の能力をはかる指標になることに関する言説 [4.2.2 能力]
9. モノが橋として役立つ厳密なメカニックス [5.2 消費活動とは何か]

#### ■資料 1. 歯列矯正の歴史 [→本文 2. 歯列矯正の概要]

歯列矯正の歴史について、飯田(2019)を参照し、歴史をまとめたが、字数の関係上本編に入りきらなかったため、資料編に掲載する。

日本の歯科矯正学の発展の足跡を振り返ると、高山紀斎や寺木定芳、榎本美彦など米国へ留学して学んだ先人たちの功績が大きかったようだ。その後日本矯正歯科学会が創立され、1932 年には第 1 回日本矯正歯科学会大会が東京神田で開催されている(飯田順一郎、2019)。

次に歯列矯正がどのように市民生活にまで広まったかについて、石川・鈴木・大野(2003)を参照にふれておこう。

まずは戦後の日本における矯正治療法の変遷を簡単にまとめておく。1945 年から、歯科臨床学は材料の改良、新材料の開発によって治療法も大きく変化を続けている。また 1～2 歯の歯の異動から、すべての歯の移動や歯列、咬合までの変化を求めるようになり、矯正治療法も多様化している。加えて対象症例も歯から顎へ広がり、口蓋裂等の後遺症治療も可能となり、幼児だけでなく成人の治療も行われるようになった。そしてかつて大学クリニックに限られていた治療実践の場も、現在では一般臨床歯科医をはじめ、矯正歯科専門医が地方に小都市にもいるため、どんな地域でも治療が可能となった。1978 年には医療法改正により「矯正歯科」の診療科名の標ぼうが許され、専門性を尊重する意味で学会認定医の精度が確立されてきた。現在矯正歯科に関係する大きな組織としては、日本矯正歯科学会と日本臨床歯科医会がある。1982 年には健康保険医療にも一部矯正治療が加わり、学校歯科保健への関与などを考えても、歯列矯正の医療は社会と接点を持つに至っている(石川他、2003)。

#### ■資料 2. 歯列矯正と保険適用 [→本文 2.1 歯列矯正と保険適用]

保険診療の対象となる矯正治療については、法益社団法人日本矯正歯科学会 HP「矯正歯科治療が保険診療の適用になる場合とは」を以下に引用する。

矯正歯科治療は一般的には保険適用外ですが、下記の場合に限り保険診療の対象となります。

- ①「別に厚生労働大臣が定める疾患」に起因した咬合異常に対する矯正歯科治療
- ②前歯及び小臼歯の永久歯のうち 3 歯以上の萌出不全に起因した咬合異常（埋伏歯開窓術を必要とするものに限る。）に対する矯正歯科治療
- ③顎変形症（顎離断等の手術を必要とするものに限る）の手術前・後の矯正歯科治療

(日本矯正歯科学会ホームページ <https://www.jos.gr.jp/facility> より)

保険制度の適用範囲に関しては、1982年に口唇裂・口蓋裂に起因した不正咬合に対する矯正治療が健康保険制度に組み込まれ、さらに顎変形証も含めて顎顔面の奇形に起因する不正咬合に対する矯正治療にも保険制度の適応範囲が拡大された歴史がある。このように矯正治療が健康保険制度に組み込まれたきっかけには、北海道苫小牧市で、口蓋裂の子どもを持つ母親が、将来を悲観してその子を殺してしまった事件がある。このように不正咬合に対する矯正治療の必要性は、戦前とは比較にならないほど広く社会に認識されるようになってきた。

■資料3. 「機能美」に関する歯科矯正医の言説 [→本文 4.1 歯科矯正医の言説]

以下、資料3・6・8では本文に掲載しきれなかった言説群を文献別に掲げた。丸括弧の数字(001)等は引用文の掲載頁。各文献の書誌情報は、参考文献表を参照のこと。

『美意識革命』(橋場、1997)

(001)「美しくなることも文化のひとつですが、いくらお金をかけておしゃれをしても、不揃いな歯並びのままでは貧しいおしゃれになってしまいます。ほんとうのおしゃれとは、表面を飾ることではなく、内面から光輝くものを発することではないでしょうか。」

(107)「歯は機能するからだの一部です。みためだけを整えればいいというものではありません。」

(111)「まさにかみ合わせは美しさのみなもと。そして美しさとは健康が生み出す生命力そのものなのです。」

(110)「美容歯科や美容整形と混同されてしまうことが多いのですが、歯列矯正の目的は、あくまで歯の機能、つまりかみ合わせをよくすることです。かみ合わせをよくすれば、同時に歯並びもきれいになる。」

(144)「歯並びの矯正は、いつときだけの美を手にするものではありません。」

『美しい歯物語』(伊藤、2007)

(004)「よく噛める歯というのは、最終的に皆様にとって美しい歯として認識されるようになります。神は細部に宿るというわけです。」

(005)「口の機能を効果的に再建することによって、おいしく食べ物をいただくことができる、味や食感を楽しむことができる、正確な発音ができる、口の機能異常によって発生する肩こりやさまざまなからだの異常を調整する、など直接からだの健康を推進します。さらに最高の笑顔『ハリウッドスマイル』を演出できるよう、あらゆる治療において審美性を追求しています。そして最終的には皆様には幸せになっていただきたい。これがわたしたちメデントインスティテュートの究極の願いです。」

(008)「よく噛める歯や味わえる歯は、最終的には皆様には美しい歯として認識されることでしょう。なぜなら人は機能的に優れたものを美しいと認識するからです。」

(159)「『美しい歯』というのはイメージも漠然としていることから、本書のタイトルとしてふさわしいかどうか迷いました。それでも色々な意味で機能性に優れた歯というものは美しいものです。」

(162)「メデント認定クリニックでの医療によって、あなたは必ず美しい歯を手に入れることができます。それは機能的にもよく噛め、味わえる歯です。」

#### 『一生モノの美しい歯並びを手に入れる方法』（浅野、2012）

(037-038)「そもそも、歯の役割とはなんでしょうか。一般的には次の四つが歯の役割として考えられています。①食べ物を噛む働き②発音を助ける働き③あごの発育を助ける働き④見た目の美しさ（中略）きれいな歯並びとは、これらの役割をよく果たしてくれる歯並びのことで、反対に悪い歯並びでは、これらの役割をうまく果たしてくれません。」

#### 『生まれる前からはじめる子どものデンタルケア』（古田、2021）

(039)「きれいは機能的」

### ■資料 4. 『歯並び美人で充実人生』（宮島 2021）目次の小見出し


[→本文 4.1.1 歯列矯正と健康]

<p><b>第1章 もったいない！あなたの印象が「歯並び」で損しているとしたら……</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・先進国の中で歯並びが悪くても平気なのは日本人だけ</li><li>・「歯並び」で手にする幸せが変わるって知っていますか？</li><li>・日本人は骨格的に歯並びが悪くなりやすい</li><li>・歯並びが悪いと身体がゆがむ</li><li>・噛み合わせが悪いと胃腸の調子も悪くなる</li><li>・歯並びが悪いと医療費がかさむ</li><li>・歯並びが悪いと発音が悪くなる</li><li>・歯並びの悪さは自信のなさを生む</li><li>・芸人からハリウッド女優まで！歯にお金をかける理由</li><li>・「八重歯」は虫歯の温床</li><li>・歯並びが悪いと口元の形も悪くなる</li><li>・歯並びの悪さは口臭の原因に</li></ul> <p><b>第2章 口元がきれいな人は人生で得をする</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・歯並びが悪いと食事の魅力が半減</li><li>・歯並びがよくなると顔のバランスがよくなる</li><li>・身だしなみより歯並びを整えなさい</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・なぜ歯並びがいいと知的に見えるのか</li><li>・整った歯並びは健康に見える</li><li>・歯並びが整うと肌の調子もよくなる</li><li>・自信のある笑顔は脳を活性化する</li><li>・健康長寿で100歳まで生きられる</li></ul> <p><b>第3章 こんなにある噛み合わせのメリット</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・噛み合わせのよい子どもは頭の回転が速い</li><li>・噛み合わせのよい高齢者はボケない</li><li>・集中力アップで仕事も勉強もはかどる</li><li>・鼻呼吸で得られる一酸化窒素（NO）のメリット</li><li>・なぜ歯並びをよくすると風邪をひかなくなるのか</li><li>・スポーツのパフォーマンスが上がる</li><li>・噛み合わせがよくなると頭痛が解消される</li><li>・視力も回復する</li><li>・唾液が出ることでがんを予防</li><li>・しっかり噛めれば痩せられる</li><li>・よい噛み合わせは虫歯予防になる</li></ul>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



■資料 5. 八重歯に関する新聞記事の例 (→本文 4.1.2 歯列矯正と外見の変化)

・「八重歯は矯正すべきか」(2014 年 10 月 23 日朝日新聞朝刊)



### サロン・ド・ウミヅキ

毎月ルイ

いつから日本人は、これほど画一的な歯並びにこだわるようになったのだろう。

本来、審美的感覚は各国の歴史や文化的背景によって形成されるものであり、国や民族によって異なるのは当然である。

日本では、八重歯は「チャームポイント」と認識されており、可愛らしいものとして尊重されてきた。芸能史に名を残すスターの系譜を見てもいい。石原裕次郎から山口百恵、

広末涼子にいたるまで、八重歯は魅力的なパーツと認識されてきたのがよくわかる。

ところが昨今、芸能人の歯は全員絵に描いたようにまっすぐな歯並びで、しかも便器のように真っ白だ。不自然きまりな色と形の歯を「これでもか」と見せつけて笑顔をつくる。

おそらくは米国の影響であろうが、あまりに皆が皆、同じ歯並びと色をしているので、なんだか薄気味が悪い。

### 八重歯は矯正すべきか

いうまでもなく、これらは人工的に作られた歯であり、歯並びである。悪くもない歯を削り、白いかぶせ物をし、歯並びをそろえるために抜歯や矯正をする。

八重歯は英語で「ドラキュラの歯」「悪魔の歯」と呼ぶそうだ。しかし、我が国日本では「八重歯」と呼ぶのである。

八重とは「八重咲き」「八重桜」の八重で、花弁が重なり、美しさが増した様をあらわす言葉である。つまり、八重歯という言葉には、花にも似た愛らしく、美しいものというニュアンスが込められている。

審美的感覚は文化の一部であり、その国の美意識や価値観を

象徴しているといっても過言ではない。それをやすやすと海外の文化に毒されてはならない。

ある歯科医院のモニターに「八重歯が可愛いと思っているのは日本人だけです」と歯科矯正の宣伝が映し出されていた。

大きなお世話だ。日本人が八重歯を可愛いと思っているのならそれでいいじゃないか。

咀嚼や呼吸に支障があるほどの乱杭歯ならともかく、なぜあの可愛らしい八重歯をわざわざ矯正する必要があるのか。

いつのまにか八重歯を矯正してしまう芸能人は多い。あんなに可愛かったのに、わたしはひそかに惜んでいるのである。

(作家)

・「付け八重歯ガール増殖」(2012 年 08 月 04 日朝日新聞朝刊)

## 付け八重歯ガール増殖

笑った時にちらりと覗く八重歯。以前は、歯列矯正を選ぶ人も多かった。だが今、「かわいから」とあえて八重歯をつける女性が増えている。街の八重歯美女を集めた本が注目され、海外のメディアでも紹介された。なぜ、人気なのか。

「つけまつげと二重、おしゃべりの一環です」。東京都の大学生、橋本佐奈さん(20)は6月、歯科医で八重歯を付けた。「歯並びがきれいな方がいいとは思ってけど、みんながそうだとつまらない。あえて、牙を作って個性を出しました」。

人気の要因はとておもしろい愛嬌で知られるAKB48の板野友美にあるようだ。板野がテレビや雑誌で注目された頃から、歯科医で「おもしろいみたいになりたい」と付け八重歯を望む女性が増加。八重歯のある芸能人や歴史を紹介した「八重歯ガール」(前川ヤスカ著・朝日新聞出版)も昨冬に出版され、テレビでも話題に。有料チャンネル「スカパー」では、「八重歯ガールズコンクッション」という90分番組も生まれた。

欧米では「バンパイアの牙のよう」と、驚きとともにニューヨーク・タイムズや、スペインのエルムン・ド紙でも報道された。ニューヨーク・タイムズは「完璧ではない女の子に男性は親しみを抱くのではないかと」を報じた。

東京・銀座の歯科「デンタルサロン」で、驚きとともにニューヨーク・タイムズや、スペインのエルムン・ド紙でも報道された。ニューヨーク・タイムズは「完璧ではない女の子に男性は親しみを抱くのではないかと」を報じた。

### かわいくなる?けどハイリスク

「付け八重歯」の問い合わせが増え始め、今は多い月で30件ほどの予約が入る。施術を始めた4年前の約8倍だ。

プレジールでは、セラミックを主成分に八重歯の形にして歯に接着している。自分で取り外せるものは1本3万円。施術は1時間以内、食事をしてもらえないものは1本4万円。千円。客層は20代が8割を超える。

稲山祥子院長は「歯並びが悪くなるので、積極的に勧めないが、安全であることは間違いない。施術後『明るく笑えよう』と笑顔で帰る患者を見るのが嬉しい」と話す。

一方、歯科衛生士の山田千秋さんは、「歯が磨きにくくなるし、いざ外すときに削らなければならない場合もあるかもしれない。フッリオンにはハイリスクです」と警鐘を鳴らす。

(江戸川夏樹)



↑八重歯をつけた後  
↓つける前



AKB48の板野友美。笑うと八重歯がのぞく

■資料 6. 「育ち」にかかわる 3 種類の言説 [→本文 4.2.1 育ち]

◆言説タイプ A 「子供の能力を最大限発揮させる」

『世界の一流はなぜ歯に気をつかうのか』(森下、2020)

(059)「子どもは口を健康にすると学力も向上する！」

(061)「子どもの歯に目を配り、よく噛める健康な校内環境を整えておくことは、子どもの

学力向上に不可欠です。」

『生まれる前からはじめる子どものデンタルケア』（古田、2021）

(159)「伸び盛りに歯並びや咬み合わせを改善しておけば、精神的にも安定して能力や個性を活かしながら成長することができるでしょう。」

◆言説タイプB「子どもの歯並びをよくするための育て方」

『美意識革命』（橋場、1997）

(048)「永久歯の歯並びは、赤ちゃんのときからの習慣で決まる部分も大きいので、生まれたときから気をつけてあげなくてはなりません。」

『子育てできれいな歯並びを！』（倉治、2011）

(003)「大人の心構えしだいで、子どもは変わるのですね。」

(017)「歯並びの悪さは『遺伝』より『育て方』！？」

(018)「現在、遺伝による歯並びの悪さはだいたい25%程度ではないかといわれています。残りの75%社会環境、食習慣、生活習慣、くせ、虫歯、進化の影響などのさまざまな原因が融合されたものだと考えられているのです。」

『歯並び美人で充実人生』（宮島、2021）

(100)「成長期の子どものほうが影響は大きいので、親御さんが注意して環境を整えてあげることが大事だと思うのです。」

◆言説タイプC「歯列矯正は親の義務」

『美意識革命』（橋場、1997）

(128-129)「骨格性、歯槽性にかかわらず、歯並びは子どものうちに適正な処置をとっておくのが理想です。(中略) いずれにしても、(歯並びの矯正は) その子どもに合った治療の開始時期があるので、早めの段階で矯正専門医に相談することです。相談するだけなら、それほどお金もかかりません。歯並びの矯正は、一八歳までなら文句なく医療費控除の対象になります。その意味からも、子どもの歯並びについては、親がしっかりと責任を持つようにしたいものです。」

『子育てできれいな歯並びを！』（倉治、2011）

(140)「『子どもの歯並びの悪さ』イコール『親のせい』とは思わないで！」

「子どもの歯並びの良しあしは、親の工夫や努力で変えることも可能です。しかし、『子どもの歯並びが悪い』＝『親が努力を怠った』ということではありません。遺伝、子どもの個性、社会の変化、人類の進化……さまざまな条件が相まっての結果です。お母さんが自分を責めてクヨクヨする必要はありません。そんなときのために専門家がいます。小児歯科医、そして歯科矯正医に相談してみてはいかがでしょうか。(中略) もしかしたら、最終的には歯列矯正という道を選ぶこともあるかもしれません。それもまた子どもが

健康なかみ合わせを手に入れるための一つ的手段であると考えて、ぜひチャレンジしてみ  
てほしいと思います。」

### 『世界の一流はなぜ歯に気をつかうのか』（森下、2020）

(007)「日本では、子どもに矯正をさせるのはまだまだ少数派でしょう。しかし、欧米では、  
子どもに矯正をさせるのは、親の責務と考えられているほどです。特にアメリカではその  
傾向は強く、仮に離婚となった場合、慰謝料には子どもの矯正費用も計上されます。それ  
くらい矯正は生活の一部となっているのです。」

(052-053)「子どもの矯正は『健康のため』の日本、『美しくするため』のアメリカ」「アメ  
リカでは、歯並びを正すことは身体の疾患を治療するのと同じくらい重要と考えられてい  
て、親はわが子に矯正をさせます。歯列矯正をさせない親は、親としての責任を果たして  
いない、とする味方まであります。(中略)繰り返しになりますが、この言動の根底には  
『歯並びが悪い＝貧しい家庭である＝十分な教育を受けていない』という考え方が人々の  
間に根深く浸透しているためです。歯が家庭のレベル、ひいてはその人の素養のバロメー  
ターとなっているのです。」

(069)「一流の方、一流を目指す方ならもはや常識なのが、我が子の歯にも責任を持つとい  
うことです。(中略)子どもにしっかりと教育を受けさせることと同様に、成人する  
までに健康できれいな歯を授けることは親の大事な責務だと考えられているからです。」

### 『生まれる前からはじめる子どものデンタルケア』（古田、2021）

(040)「大人になってから歯で悩まないようにしてあげるのは、お子さんへの素晴らしいプ  
レゼントだと思います。」

(042)『『人生 100 年時代』を生きる子どもたちにとって、生涯自分たちの歯で過ごすため  
に親がする支援、いわば『歯育て』は、これまで以上に重要な意味を持つようになるでし  
ょう。』

## ■資料 7. 「子供の能力を最大限発揮させる」ための歯列矯正に関する新聞記事

### （患者を生きる：3600）スポーツ 歯のかみ合わせ：3 親知らず抜いて、矯正も

7人制女子ラグビーに転向した寺田明日香さん（28）は体重を  
増やしたかったが、左上の親知らずのせいで思うように食べること  
ができなかった。昨年1月、東京医科歯科大病院（東京都文京区）  
のスポーツ歯科外来を受診した。

「親知らずがぶつかっている気がします」。寺田さんは診察を担当  
した中禮宏（ちゅうれいひろし）助教（46）に、そう伝えた。

X線検査により、歯茎の中に埋まっていた左上の親知らず（第3  
大臼歯）が下の歯茎にあたり、痛みが出ていることが確認できた。  
中禮さんが左上の親知らずを1、2ミリ削ると、下の歯茎にぶつか  
らなくなった。しかし、しばらくすると、親知らずがまた出てきた。

**患者を生きる** 3600 スポーツ

7人制女子ラグビーに転向した寺田明日香さん（28）は体重を増やしたかったが、左上の親知らずのせいで思うように食べることができなかった。昨年1月、東京医科歯科大病院（東京都文京区）のスポーツ歯科外来を受診した。この親知らずがまた出てきた。1月下旬、この親知らずを抜いてもらうと、歯がほおの内側に当たることがなくなり、口内炎にも歯でかみしめられることが減った。筋力トレーニングや練習の際、磨ん張りやすくなったのがうれしかった。

X線検査により、歯茎の中に埋まっていた左上の親知らず（第3大臼歯）が下の歯茎にあたり、痛みが出ていることが確認できた。中禮さんが左上の親知らずを1、2ミリ削ると、下の歯茎にぶつからなくなった。しかし、しばらくすると、親知らずがまた出てきた。

親知らず抜いて、矯正も



1月下旬、この親知らずを抜いてもらおうと、歯がほおの内側に当たることはなくなり、口内炎にも悩まなくなった。寺田さんは「奥歯でかみしめられる」と実感した。筋力トレーニングや練習の際、踏ん張りやすくなったのが、うれしかった。

右上の親知らずも、左上と同じように歯茎から出てきていた。痛みはなかったが、後日抜いてもらった。

通院するうち、歯並びがあまり良くないことが中禮さんとの間で話題になった。陸上選手時代も、歯科医に矯正治療を勧められたことが何度もあった。歯並びを適切にすることでかみ合わせを良くして、競技のパフォーマンス向上につなげる考え方があった。ただ、当時はそこまで気にしなかった。

「ちょうどいい機会かもしれない」。4月、同病院の矯正歯科外来を受診した。

診察した松本芳郎（まつもとよしろう）講師（53）は、歯がでこぼこに生えている「叢生（そうせい）」と、上下の前歯が外側に傾く「上下顎前突」と判断した。いずれも、かみ合わせが正常でない「不正咬合（こうごう）」の一つ。寺田さんは通常よりもそれぞれの歯が大きいことが原因と考えられた。

限られたあごの空間に歯を適切におさめ、前歯を後ろに下げるため、前から4番目の歯（第1小白歯）を上下左右で計4本抜くことになった。この歯は矯正治療で抜歯が必要な場合、抜くことが多い。残っていた左右の下の前知らず2本も抜くことが決まった。（南宏美）

（2018年07月25日朝日新聞朝刊より）

#### ■資料 8. 歯並びが個人の能力をはかる指標になることに関する言説 [→本文 4.2.2 能力] 『美意識革命』（橋場、1997）

(071)「清潔感、知性、さわやかさ、健康的……こうした人に好感をもたれるファクターは、きれいな歯並びがあってこそそのものです。」

(072)「文化が高まり社交性がマナーになっている現在は『人は見かけによる』といえるかもしれません。」「つまり、悪い歯並びを見て、何も思わないということはもはや、まわりの人から自分自身が歯並びに関する美意識や衛生観念が低いと思われてもしかたがないということです。美しい歯並び、口もととはだれのため……。自分のためだけでなく、まわりに対するマナーのために必要なのです。美しい口もととは見てすがすがしい気持ちになるのです。（中略）口もと、歯並びも相手を快い気持ちにさせるという意味で、マナーといえるのではないのでしょうか。」

#### 『世界の一流はなぜ歯に気をつかうのか』（森下、2020）

(003)「欧米では歯はその人の育ちや教養を映すシンボルなので、それに気を配らず放置したままの日本人を不思議に、時には嘲笑や軽蔑のまなざしで眺めていたのです。」

(003)「もちろん欧米でも低所得層など、歯に限らず健康にお金も意識も回す余裕のない層は一定数います。」

(010)「歯で格差が生まれる時代も迫ってきている」

(030)「出身階級や育ちは、どんなに努力しても今さらどうにも変えることはできません。しかしありがたいことに、きれいな歯は、努力すれば手に入れることができます。歯はその人のバックグラウンドを反映します。しかも、試験や調査をすることなく、口を開いた瞬間にわかってしまいます。」

(035-036)「『太っている人』『タバコを吸う人』は、欧米のビジネス街においては、内面そして外見においても、自己管理ができていない、とみなされます。(中略)そして、実はもう一つ『エリートにふさわしくない』とみなされるポイントがあります。そうです、それこそが「汚い歯」です。

(037)「欧米エリートは『自分がどう見られるべきか』を念頭に置いて、相手に清潔感を与えられるようなきれいな歯を維持するよう努めます。」

(043)「美しい歯にビジネスチャンスを引き寄せる力がある」

(067)「そんな彼ら(歯に対して意識の高い日本人)に共通していた行動様式が、問題を先延ばしにせず、施局的に治そうと動く行動力があるという点でした。彼らはどんなに小さなことでも、人生にマイナスになりそうな芽に対しては、すぐに摘み取る努力を惜しみません。」

(129)「私は親から歯並びが大事だという意識を植え付けられていたから、もし彼女が八重歯が目立つ女性だったら声を掛けていなかっただろうね(笑)」

### 『歯並び美人で充実人生』(宮島、2021)

(017)「欧米をはじめとする先進諸国では、こうした感覚(太っている人は、自己管理ができない、だらしない人で、意志が弱い)と似たような感じで、歯並びの悪さも捉えられてしまうのです。」

(049)「無意識のうちに歯並びや口元がコンプレックスになっていて、『矯正をするまでは、自分がやってみたいと思うことになかなか挑戦できなかった』という患者さんは少なくありません。ところが矯正を始めて美しい歯並びになると自信がつくせいか、『今度新しくこういうことを始めました』など、定期健診の際にうれしそうに話してくれる患者さんが数多くいます。それまでやりたかったことにチャレンジし始め、表情がイキイキと輝くようになるのです。」

(057)「口角の上がった口元は、信用できる顔の特徴の一つにあげられます。逆に口角が下がってへの字になっている人は、信用できないイメージにつながってしまいます。」

(059)「海外の先進国では歯並びは、非常に大切な身だしなみとされています。(中略)歯並びが悪いだけで『身だしなみが悪い人』『フォーマルではない人』という印象になってしまいます。」

(166)「笑顔の印象がよくなると、人からの第一印象は必ずよいものに変わります。それによって、本人も自信が持てるようになり、積極的に人とコンタクトをとるようになっていきます。性格も明るく、社交的かつ前向きになる方が非常に多いです。その結果、プライベートでは恋人ができた、友達が増えた、周りから『最近きれいになったね』と言われることが増えたという患者さんの声をよく耳にします。ビジネス面でも、『積極的に相手とかかわれるようになった』『初対面の人とも仕事の話をスムーズに進められるようになった』『営業成績が上がった』などの手応えをお聞きします。」

- (166)「矯正して歯並びが整うことによって、健康的、知的、爽やかな印象を与えられるようになるというのは、これまでの人生を変えるのに十分な変化だと思います。」
- (167)「矯正をすることは、その人自身の人生の質を高めることにもつながるのです。」
- (189-190)「自分がやりたいことに積極的にトライして人生を楽しめるようになるきっかけとしても、矯正は大きな役割を果たしています。」
- (190)「これまでの患者さんたちを見ていても、矯正していない自分と矯正した自分とでは、一歩踏み出す力に大きな差が出るようです。多くの患者さんとのかかわりの中で実感するのは、『矯正治療が人生を着実に変えている』ということ。その方の人生の幅が広がり、新しい視野や世界観を得てイキイキと輝いていく。」
- (200)「こうした記念日の写真は、晴れやかな笑顔で写りたいものです。記念写真はいつでも手元に残る、幸せの象徴でもあるのですから。(中略) 一大決心をして、時間とお金を費やして手に入れた美しい口元は、10年後、20年後のあなたに対するエールになるはず。写真の中で最高の笑顔でほほ笑むあなた。その姿を見るたびに、あなたの人生が多くの人たちに祝福されてきたことを思い出すでしょう。『ハレ』の日はぜひ、ゴールデンスマイルで写真に写ってください。」
- (200)その1枚の写真は、自己肯定感や幸福感の中で着実に自分の人生を歩んできた軌跡を示すことになるでしょう。

■資料9. モノが橋として役立つ厳密なメカニックス [→本文 5.2 消費活動とは何か]

G.マクラッケンの『文化と消費とシンボルと』VII事物の喚起力=消費と希望、理想の保存によると、モノが橋として役立つ厳密なメカニックスは4つ。第一にモノは具体的で耐久性があるため、抽象的で実体のない意味を、現存する、もっともらしい、所有可能な、とりわけ具体的なものにするのに成功するから。第二にこうしたモノの記号は、部分が全体を代表するように見えるという利点を持つから。個々人の未来のコンセプトが、この未来の物質的一片に集中する、この一片に代表されるようになるのである。第三にこうした物品の経済価値が、それにシンボル価値を与える一助になるから。欲しい品の経済的性格が、それを置き換えられた意味を代表するにふさわしいものにすることだ。第四にその豊富さ。消費者にとってより高い消費レベルが常にある状態になるため、いつでも理想の意味を置きかえうる場所が用意されているから。

(ふじもと なお)

[付記] 本稿は、奈良女子大学文学部人文社会学科文化メディア学コース 2022 年度卒業論文(藤本直「歯並びへのまなざし—歯列矯正をめぐる言説と人々の意識・行動—」／指導教員・小川伸彦教授)に若干の手直しを加えたものである。